

令和 7 年度
公益財団法人 永井科学技術財団 助成事業

前 期 募 集 要 項

募集期間；令和 7 年 4 月 1 日～5 月 1 1 日

【永井科学技術財団 助成金】

- ・ 国際交流
- ・ 大学院生海外研修
- ・ 大学院生国際会議発表支援
- ・ 大学院生論文投稿支援
- ・ 科学技術育成教育
- ・ 企業化支援
- ・ モノづくり実践支援

1. 助成事業の目的

素形材分野、これに関連する分野又はこれを他の産業へ応用する科学技術（以下これらを「当該科学技術」という）に関する学術研究、技術開発、国際交流、講演会、発表会、展示会等に対する助成及び科学技術全般の育成教育に対する助成を行うことにより、学術及び科学技術の振興と社会経済の発展に寄与することを目的としています。

※「素形材」とは

素材に熱や力を加えて形が与えられた部品や部材のことをいいます。素材には金属、石材、ゴム、ガラス、プラスチック、ファインセラミックス、複合材料などがあり、それらに形を与えるには鋳造、鍛造、プレス、粉末冶金など様々な加工法が使われます。

2. 助成事業の内容

愛知県内の学校、研究機関、中小企業等の研究者、技術者及び研究や教育等を支援する団体を対象に以下の事業を行います。

- (1) 当該科学技術に関する学術研究、技術開発及び国際交流に対する助成
- (2) 当該科学技術に関する講演会、発表会、展示会等に対する助成
- (3) 科学技術全般に関する育成教育に対する助成
- (4) その他この財団の目的を達成するために必要な助成事業

3. 募集分野

- (1) 素材の創製に関する新たな研究
【金属、有機材料、無機材料、複合材料など】
- (2) 素材の成形及び加工方法に関する新たな研究
【鋳造、鍛造、プレス、粉末冶金、3D造形など】
- (3) 素材、成形品、加工品への機能化に関する新たな研究
【改質、表面処理、接合、造粒、微粒化など】
- (4) 素形材と他技術の融合（応用・活用）による新たな研究
【エネルギー、環境、AI、ロボット、電池関連など】



4. 募集内容

(1) 国際交流助成金 【応募資格：40 歳以下】

渡航して素形材に関わる研究活動や研究発表などを行う若手研究者に渡航費用を助成します。2025 年 4 月から 2026 年 3 月で 1 週間程度の渡航を対象とします。

(2) 大学院生海外研修助成金 【応募資格：大学院生（前期・後期課程）】

素形材に関わる研究を行う大学院生の海外での研修を支援するために渡航費用を助成します。2025 年 4 月から 2026 年 3 月で 1 ヶ月程度以上の渡航を対象とします。

(3) 大学院生国際会議発表支援助成金 【応募資格：大学院生（前期・後期課程）】

素形材に関わる研究成果を国際会議で発表する大学院生を支援します。国際会議への参加費用、発表資料の作成にかかる費用など。2025 年 4 月から 2026 年 3 月に開催される国際会議を対象とします。発表の際は「公益財団法人永井科学技術財団 (The NAGAI Foundation for Science & Technology) の助成による」旨を添えてください。

(4) 大学院生論文投稿支援助成金 【応募資格：大学院生（前期・後期課程）】

大学院生の素形材に関わる研究成果の学術誌、学会誌等への論文投稿を支援します。論文投稿費用、論文作成にかかる費用など。2025 年 4 月から 2026 年 3 月の間に受理、採用される論文を対象としますが、諸事情による期間延長等は考慮いたします。論文には「公益財団法人永井科学技術財団 (The NAGAI Foundation for Science & Technology) の助成による」旨を添えてください。

(5) 科学技術育成教育助成金

次世代を担う青少年（小中高生、学生）及び一般を対象に、科学技術に関する教育活動、ダイバーシティ推進活動等を実施する愛知県内の団体に助成します。

(6) 企業化支援助成金

素形材に関わる事業に挑戦する若手のスタートアップ事業への支援を実施する愛知県内の団体に助成します。

(7) モノづくり実践支援助成金

学校等の製作課題（機械、電気電子、材料、デザイン等）、素形材に関わるモノづくりを実施する活動（授業、部活動、サークル活動など）の製作費を助成します。2025 年 4 月から 2026 年 3 月に実施する企画で、愛知県内の学校（大学、高等専門学校、高等学校等）及び校内サークル等の団体、グループ等を対象とします。

5. 助成規模

令和 7 年度（2025 年度）助成費予算額 3,780 万円

6. 応募資格

(1) 愛知県内の大学、高等専門学校、高等学校、研究機関、企業、団体等に属する個人または団体、グループ等

(2) 大学院生海外研修、大学院生国際会議発表支援、大学院生論文投稿支援の各助成金は、愛知県内の大学に所属する大学院生（前期・後期課程）に限る

(3) 所属機関からの推薦が得られること

(4) 年齢等の制限がある項目は“4. 募集内容”の記載に従う

(5) その他注意事項

- ① 過去に財団賞（学術賞、技術賞、奨励賞）を受賞した方は応募できません。
- ② 以下の助成を受けてから3年を経過していない方は応募できません。（4年目以降に応募可能）
 - ・当財団の奨励金
 - ・国際交流、大学院生海外研修、大学院生国際会議発表支援、大学院生論文投稿支援の各助成金
- ③ 大学院生を対象とする助成金は、企業からの派遣者及び海外から国費留学者は応募できません。また、同一専攻研究室からの複数応募は極力ご遠慮ください。

7. 応募手続

- (1) 応募期間 令和7年4月1日～5月11日
- (2) 応募方法 所定の申請様式に必要事項を記入し、郵送またはPDFファイルをe-mailにて当財団事務局宛、締切期日内に到着するようにお送りください。

※ 申請書（Word）は当財団ホームページからダウンロードできます。

<https://www.sinto.co.jp/nagaizaidan/>

注意事項 申請書類に申請者及び推薦者の押印が必要です。（シャチハタ、電子印鑑は不可）

(3) 申請書類及び添付資料

- ① 国際交流助成金
 - ・様式【3】
 - ・国際交流の内容が理解できる資料
- ② 大学院生海外研修助成金
 - ・様式【4】
 - ・海外研修の内容が理解できる資料
- ③ 大学院生国際会議発表支援助成金
 - ・様式【5】
 - ・国際会議への参加、発表内容が理解できる資料
- ④ 大学院生論文投稿支援助成金
 - ・様式【6】
 - ・投稿誌と論文の内容が理解できる資料
- ⑤ 科学技術育成教育助成金
 - ・様式【7】
 - ・育成教育事業の内容が理解できる資料
- ⑥ 企業化支援助成金
 - ・様式【8】
 - ・支援事業の内容が理解できる資料
- ⑦ モノづくり実践支援助成金
 - ・様式【9】
 - ・製作目的と実施計画が理解できる資料

8. 審査・決定

学識経験者から成る当財団の選考委員会により申請書類を審査し、理事会にて決定します。

9. 採否通知と公表

- (1) 採否は当財団理事長より申請者に通知します。(2025年6月中旬予定)
- (2) 採択テーマについては当財団ホームページ、新聞等への発表及び新東工業株式会社が発行する「新東技報」等で氏名、所属、研究内容等を公開します。

10. 申請書類の提出先、連絡先

[事務局]

〒450-6424 愛知県名古屋市中村区名駅三丁目28番12号
大名古屋ビルヂング24階 新東工業株式会社内
公益財団法人 永井科学技術財団 事務局 石黒裕之
電話 (052)582-9211 FAX (052)586-2279
E-mail nagaizaidan@sinto.co.jp
URL <https://www.sinto.co.jp/nagaizaidan/>